

第5回懇談会の主な意見等

● B修正案について

- ・中庭・吹抜けが前回のより小さくなっていて通風や採光への影響が心配。

● 校舎配置について

〈校舎環境について〉

- ・ BとDで普通教室の採光の方角が変わったので日当たりが気になる。
- ・ BとDで特別教室が早稲田通り沿いになるので、窓を開けた状態だと影響があるのではないか。
- ・ 阿佐ヶ谷中は東向きの普通教室で採光は問題なく、西側は特別教室があり、また中杉通りに面しているが、早稲田通りよりも車の往来が激しいが授業で影響は感じず、また西日も気にならなかった。
- ・ 通風について、廊下の端部に開口部があるのは十分効果がある。
- ・ 音について、外からの影響だけでなく、内から外への影響の両方を考える必要がある。
- ・ 学校の管理上、各学年でフロアが分かれている方が学校運営にはよいと思う。

〈校庭環境について〉

- ・ 中学生なので、校庭は少しでも広い方がよいと思う。
- ・ 多目的広場はいろいろ活用できるので、使い方は今後検討が必要だが、ちょっとした練習スペースや学校に試合で来た生徒の居場所、また学校行事や緊急時などに活用できると思う。
- ・ 災害時には体育館が校庭に直接面している方が、資材や人が直接アプローチできるのが便利だと思う。
- ・ 生徒の動線と車両動線を確保することで、有事も含めて校庭利用の可能性が広がる。
- ・ AとBは、現在のように体育大会の際の保護者席として高射砲台跡地を活用できるのがよい。

〈周辺環境について〉

- ・ 周辺環境への対応で倉庫や防砂ネットなどを配置するのは、圧迫感が生じ殺風景な感じになる懸念があり、景観面で気になる。
- ・ AとBの日影は現況と比べて北西の午前9時頃の影響が広がるので配慮が必要。
- ・ 周辺環境は校舎配置が決まった後で課題に対してどう対応するかを検討したらよい。

〈工事計画について〉

- ・ 工事期間中は生徒動線と工事車両動線を分けることになるが、仮設工事や新校舎工事、既存校舎解体工事と工事ごとに工事車両動線が変わるのはよくない。
- ・ 桃五小の改築時に既存校舎から仮設校舎に引っ越す時に物品が入りきらずにいろいろと捨てるを得なかったので、できるだけ校舎が残っている中で改築する方がよい。
- ・ 既存校舎がぎりぎりまで使えて新校舎に移動できる方が生徒の活動に与える影響や安心感を含めて良いと思う。

〈工事期間・コストについて〉

- ・ コロナ禍で税収が厳しくなる状況でコストの問題もしっかり考える必要がある。
- ・ 建設費も上がっており、抑えられるところはできるだけ抑えるという視点も必要だと思う。

●その他

- ・ 東京都から早稲田通り拡幅工事のお知らせがあったが、改築に影響はないのか。(※)
※改めて確認しましたが、中瀬中側の敷地への影響はありません。